

インドネシアの PT. Kanemory Food Service、太陽光発電設備を導入
～兼松グループ×AEI のシナジーによる GX 第 1 号案件 ～

兼松株式会社（以下、「兼松」）のグループ会社であるインドネシアの PT. ^{カネモリー フード}Kanemory Food ^{サービス}Service（以下、「KFS」）は、CO₂排出量の削減を目的に、本社工場の屋根全域に太陽光パネル（出力：637 kWp）を導入しました。本件は、兼松が 9 月に株式を取得した PT ^{アラム エナジー}Alam Energy ^{インドネシア}Indonesia（以下、「AEI」）の実施によるもので、株式取得後、AEI と兼松グループのシナジーにより実現した GX の第 1 号案件です（AEI の株式取得に関する[プレスリリース](#)）。



KFS の屋根に設置した 637 kWp 太陽光パネル

KFS は、インドネシアで食品加工およびセントラルキッチンの運営をしています。2012 年の設立後、日本企業のインドネシア進出やオリジナル冷凍食品の販売、ハラル認証への対応などを背景に、事業を拡大しております。

今回導入した太陽光発電により、同社の年間消費電力の約 15%が再生可能エネルギーに切り替わり、年間 516t-CO₂ 程度の排出削減が見込まれます。これは、兼松グループ全体の Scope 1 + 2 排出量※¹ に対して約 2%※² の削減効果に相当します。

※ 1： Scope 1 は自社の CO₂ 直接排出、Scope 2 は購入電力由来の間接排出を指す

※ 2： 2025 年 3 月期の Scope 1 + 2 排出量実績、26,928 t-CO₂ に対する割合

さらに 10 月、当社グループの重要パートナーであるインドネシアの総合食品メーカー Cimory Group へも、AEI の施工により太陽光発電設備を導入しました。

兼松グループは、中期経営計画「integration 1.1」の主要施策に GX を掲げ推進しています。今後も兼松グループに加え、お取引先やパートナーへ顧客ニーズに即した GX ソリューションを提供し、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



KFS 太陽光発電設備の完工を記念した太陽光パネル

<PT Kanemory Food Service (KFS) >

兼松のグループ会社。インドネシアで食品加工・セントラルキッチンを運営

本 社	Jalan Utama Modern Industri Blok AA No.8 Cikande Modern Industrial Estate Cikande, Serang, Indonesia 42186
設 立	2012 年
代 表 者	President Director/ Koichi Nishimura
ウェブサイト	https://kanemory.co.id/

<PT Alam Energy Indonesia (AEI) >

傘下に PT Alam Energy Renewables を抱える自然電力、アラムポート、NiX グループ、エンバイオ・ホールディングスの合併会社。インドネシアにて合計 30MW 相当の屋上太陽光レンタル事業を展開。

本 社	WeWork Sinarmas MSIG Tower, 37th Floor, Jl. Jend. Sudirman Kav. 21 Karet,Setiabudi,South Jakarta 12930, Indonesia
設 立	2019 年 1 月
代 表 者	代表取締役 小川 亮
ウェブサイト	https://alamenergy.co.id/

以 上

【お問い合わせ先】

兼松株式会社 広報室

電話 : 03-6747-5000

<https://www.kanematsu.co.jp/inquiry/>